

2023年4月12日

米子市・JR西日本・山陰開発からのプレスリリース 第1弾

がいなロード（米子駅南北自由通路）

令和5年7月29日開通

米子駅新駅舎、新駅ビル同日オープン



1 令和5年7月29日（土） がいなロード開通、米子駅新駅舎、新駅ビルオープン

米子駅の南北をつなぐがいなロード（米子駅南北自由通路）が令和5年7月29日に開通します。併せて、米子駅新駅舎、新駅ビルも同日オープンします。

2 記念式典

当日は、がいなロード開通、新駅ビルオープンに先立ち記念式典を行います。記念式典の時間等の詳細については決まり次第お知らせします。

また、駅南広場も同時に供用開始となりますが、駅南駐車場及びバス駐車場については記念イベント開催のため開通当日は使用できません。

3 開通関連イベントの実施について

○7月29日（土）供用開始日

- ・地ビールフェスタ等のイベントを駅南・北広場の両方で同時開催
- ・だんだんバス無料（大変込み合いますので公共交通機関のご利用をお願いします）

○関連イベントの開催予定状況について

日時	イベント内容	場所
7月22日(土)	歩いて楽しいまちづくりシンポジウム	BIGSHIP
8月5日(土)～15日(火)	大鉄道博 in 米子（実行委員会主催）	BIGSHIP
8月19日(土)、20日(日)	米子がいな祭	米子駅周辺
9月24日(日)	よなご公共交通ふれあいフェスタ	BIGSHIP

他にも、Yonago まちのひかり☆2023、米子城ライトアップ、米子バル、ストリートテラス実証実験、山陰いいものマルシェなど、多くのイベントを開催予定です。各イベントの詳細・日程については決まり次第お知らせいたします。

4 米子市国際観光案内所について

7月29日(土)の供用開始日に合わせ、新駅舎1階に併設される米子市国際観光案内所も同日に開所いたします。

○営業日：午前9時～午後6時まで（年中無休）



5 がいなロード及び駅南広場の概要

○事業名：米子駅南北自由通路等整備事業

○事業期間：平成27年度～令和5年度

○総事業費：76.6億円

○整備概要

がいなロード（米子駅南北自由通路）		駅南広場	
延長	140m（線路上空105m）	面積	約5,000㎡
幅員	6.0m	乗降場	バス2台
建物高さ	約13m		タクシー2台（乗車、降車）
昇降設備	エレベーター2基 （自転車可）	タクシー待機場	身障者1台
	エスカレーター3基 （北側上り&下り、南側上り）		一般車3台（降車）
トイレ	南北にそれぞれ1か所 （男性・女性・多機能）	バス駐車場	4台（大型3台、中型1台）
		一般車駐車場	29台（身障者用駐車場含む）
		駐輪場	142台

6 新駅ビルについて



○施設概要

住所	鳥取県米子市弥生町2の一部
開発規模	地上2階建て 鉄骨造 延床面積1086㎡

- ・新しい駅ビルの名称を「シャミネ米子」とします。
シャミネの由来は、「shamrock（三つ葉=幸運）」と「mine(私の)」を組み合わせた言葉で、「幸せな私」という願いが込められた名称です。
- ・入居予定店舗は、土産店・コンビニエンスストア（セブン・イレブン）・飲食店・物販店などを予定しています。（全6店舗）
山陰のターミナル駅にふさわしい、旅行や出張で便利にお使いいただける店舗の他、地元のお客様・通勤通学で駅をご利用のお客様にもお楽しみいただけるような店舗を予定しています。

○外観について

「がいなロード」および駅舎との調和を重視した配色にしました。
例えば、がいなロード北側の展望デッキの外壁となる黒色の色調をイメージした色を2階西側の外壁に取り入れ、レンガをイメージした部分の赤色をビル西側のデザインに取り入れています。

○「おみやげ楽市米子店（仮称）」について

2階（改札をでてすぐの位置）で営業を予定しており、現在の仮設店舗の3倍の売場面積に拡大します。



○内装のポイント

店内では、海や山に囲まれた米子の土地をイメージした内装を採用し、米子らしさを感じていただけるデザインとします。

○店舗コンセプト

品揃え面では、米子エリアはもちろん、山陰両県の地域産品を幅広く取り扱う予定です。定番のお土産はもちろん、地元の素材や製法にこだわった、菓子・食品・工芸品、そして駅弁などを取り扱う予定です。

山陰の鉄道の玄関口として観光やビジネスで来訪されるお客様が、米子の町・人・モノとの最初に出会う場として、温かく居心地のよさを感じられる空間、地域の方には地元のいいものを発見する特別な場所となることを目指しております。